

広島市「景観シンポジウム 2018」

(2019/02/09)

第3部 パネルディスカッション

「**広島**の景観 これまでとこれから」  
～ **これから** ～



パネリスト：**森保 洋之**

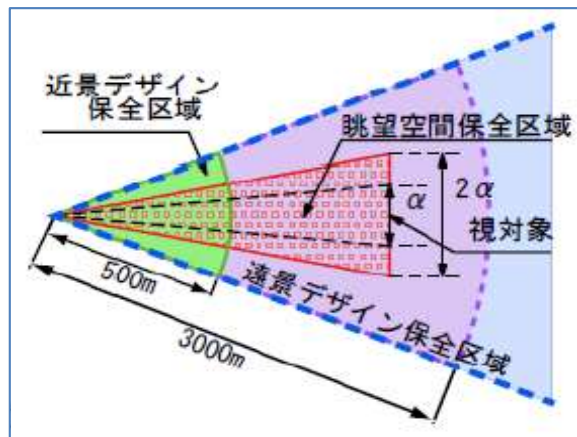
(広島工業大学・名誉教授/工博)

## 京都市 「眺望景観の類型」:

- 境内の眺め
- 境内地周辺の眺め
- 通りの眺め (通り景観)
- 水辺の眺め
- 庭園からの眺め
- 山並みへの眺め
- 「しるし」への眺め (「五山送り火」、ほか)
- 見晴らしの眺め (パノラマの景観)
- 見下ろしの眺め

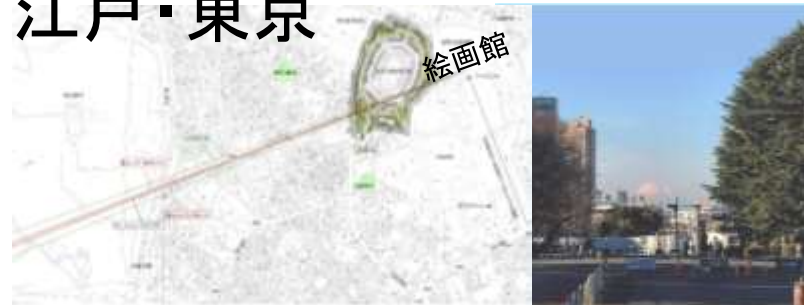
「眺望景観保全地域」の指定:  
建築物や工作物の高さや形態意匠  
の制限を行う。(49地域:指定)。

- 眺望空間保全区域。
- 近景デザイン保全区域。
- 遠景デザイン保全区域。



京都市景観計画 平成30年3月

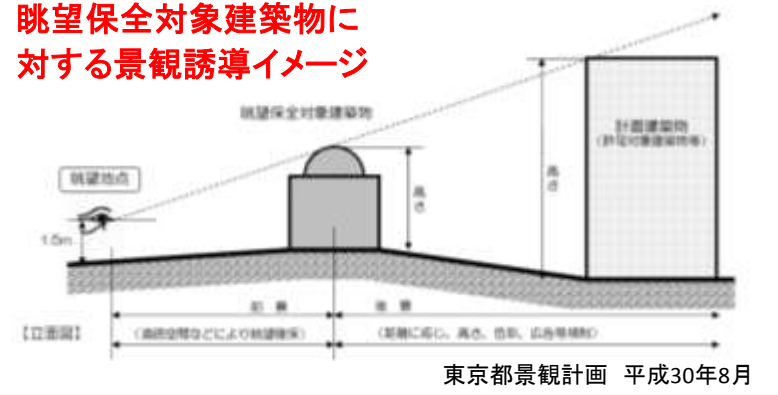
## 江戸・東京



旧国立競技場の解体により現れた外苑絵画館前から望む  
富士山:《山当て(眺望景観)》

富士見坂眺望研究会: 明治神宮外苑聖徳記念絵画館前からの富士、2017.10.26

### 眺望保全対象建築物に 対する景観誘導イメージ



## 横浜市

- ウォーターフロントを活かした景観形成。
- 眺望点、船上からの景観。● ほか。

横浜市都市整備局: 美しい港の景観形成構想、平成26年3月

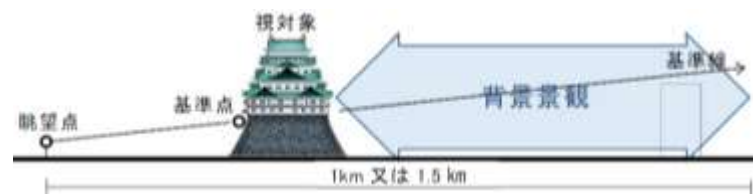
# 名古屋市

## 道路による軸線

⇒東西軸(横軸)  
(都市基盤軸?)

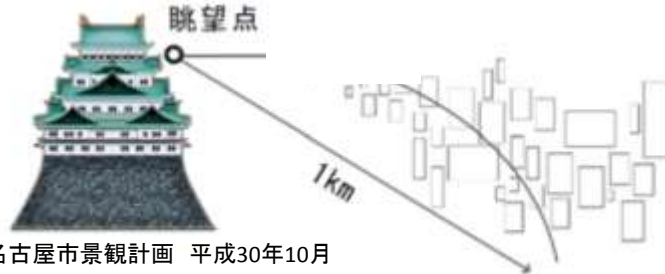
⇒南北軸(縦軸)  
(環境基盤軸?) 計画された道路新設

池田誠一:プロジェクト紀行 名古屋 近代の都市づくり



名古屋市景観計画 平成30年10月

**背景景観** (視対象の背景に建築物等が視認されることにより、その景観が阻害されないよう、大規模な建築物・工作物又は屋外広告物の**高さに関する制限**を設定する。制限範囲は、**眺望点**から**1km**までを**基本**とするが、名古屋城を代表する写真撮影ポイントについては、眺望点から**1.5km**までとする)。



名古屋市景観計画 平成30年10月

大規模な建築物等であっても、視距離が大きくなれば、その輪郭はぼやけ周辺の建築物等との差異は感じられなくなるほか、視距離 1km を超えると見た目の大きさが小さくなり、眺望景観への影響はあまり感じられなくなるとされる。

## パノラマ景観

## 天守閣



## 見通し景観:

名古屋市景観計画 平成30年10月

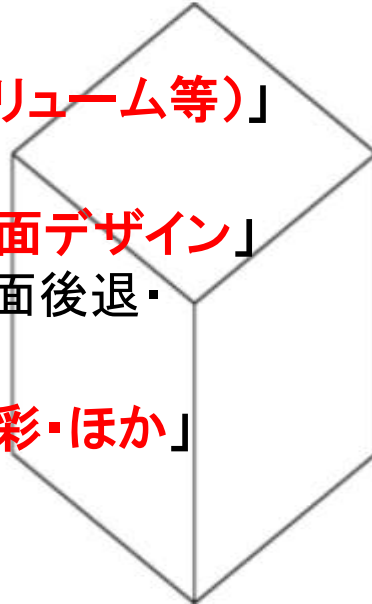
その保全のために協議を働きかけてゆく地域(範囲)

## ■眺望の保全・確保の為の各種の検討事項:

★《眺望景観の種類》(再掲)(京都市) ●境内の眺め。●境内地周辺の眺め。●通りの眺め(通り景観)。●水辺の眺め。●庭園からの眺め。●山並みへの眺め。●「しるし」への眺め(「五山送り火」・「歴史的建造物」・他)。●見晴らしの眺め(パノラマの景観)。●見下ろしの眺め。(横浜市) ●船上からの景観。●ほか。⇒ 今後、当市は、本件について、どう検討するか？

## ★《眺望に係る検討要因》

- ①「建物等の高さ」
- ②「建物等の形態(ボリューム等)」  
(分節化・ほか)
- ③「建物等の外観・壁面デザイン」  
(低層階の扱い・壁面後退・緑化・ほか)
- ④「建物等の素材・色彩・ほか」  
(調和への誘導)
- ⑤「光・光線」  
(含、レーザー光線)
- ⑥「その他」:  
《景観計画重点地区》①の範囲、規制内容の検討。  
(含、「背景景観」・他の検討)



《景観計画重点地区》  
:①

②～④:景観計画の「形態意匠(含、色彩)の基準」に対して、如何になすべきかの検討は重要。

① 住民への「精神的支え」・「心の支え」・「落ち着く」等。《**心的な軸**》

② 場所に存在する象徴的なものを浮かび上がらせ、秩序を与える。都市の構造に刺激を与える。《**機能的・視覚的な軸**》《**視対象強調・都市構造的な軸**》

③ 人・ものの流れを示し、行動の支え。《**行動促進的な軸**》

建築や都市に「軸線」を設定する意味：

⑤ 《軸線設定》の結果、見える範囲、行動の範囲、等々のエリア性が発生 ⇒ 《シーケンス形成(空間の連続性)》 ⇒ 《**空間のまとまり的な軸：「領域の確定」**》

④ 視線が開ける、位置が分り易い、対象を認識し易い、手掛かりになる等、「都市・対象認識の支え」や、住民への「分り易さ」の提供。住民の「理解・認識への支え」。《**対象認識促進的な軸**》

主要な5つの意味：提示  
…今後の広がり・展開に期待！



## ■《都市の軸線、景観》⇒《都市の個性化》・《都市の活性化》【双六！】

①《町を拓く》⇒何かの頼りになるもの、その「縁（よすが）」・「拠り所」・「手掛かり」等々が必要。

②広島の場合、自然的、地勢的、デルタ形成・造成的、南北・東西の方位・方向的等の、**広島デルタの空間**の構造的把握の中に、**遺伝子的に組み込まれた**（織り込み済みであると考える）「**軸線**」があろう。この「**軸線**」が、実は、①の「**縁**」・「**拠り所**」の存在感の大きな一つであろう。

③その意味で、丹下氏提案の「**平和の（南北）軸線**」を**大事**にし、「**都市・広島**の**南北軸線**」へと理解を**広げ・高め**、そして、それを手掛かりに、種々の軸線に係る諸々の構想とその具体的整備とを期待したい。

⑤軸線の周り・・・  
■ **南北軸線上**：北側の「背景景観」  
⇒現状＋今後の整備等に配慮した検討が大事。  
南側の軸の延伸・・・中工場、似島、ほか？  
■ 地区の**東側**、**西側**の景観、地区の**南側**の景観：  
・・・共々に大事にし、丁寧に検討すべきである。

④軸線⇒線の上のみか？ 線の周りも関係！（薄墨のような世界！）

⑥その他の軸線・・・  
■ 「**東西軸線上**」：  
○ 東側の「平和」を主題とする軸、その周りの整備。  
○ それとは異なる《もう一つの拠点整備》としての西広島地区整備への期待。（JR・広電、アストラムの延伸、地区の再開発、副都心としての整備、等々）。  
■ **軸外の他地域**：広島駅周辺地区、横川駅周辺地区等と共に、八丁堀地区・他。

↓

**⑦**市民の為の都市景観の形成の基本？：

●都市・広島を景観上よいもの、風景として綺麗で見映え良いものとすることは大事。

●その景観に対して、市民が愛でる心・意識の高揚も必須・大事。市民の心・意識の下支えが、重要な《こと・価値》と考える。

●景観には、「もの」と「市民の心」との2者が必須。これは、景観が、市民の心に響くものとなることの基盤と云える。

●前掲の「軸線」は、市民等の心に響くものとなることが大事で、その相互の響き合う姿・形・形式等が期待されるものと云えよう。

→

**⑧**そのことに関連して、**住民側に期待される**(期待したい)**要件**とは！

⇒「共存」、「規範」、「規則」、「プライド意識」、「個性」、「創造」、他。これらの意識の醸成・形成が大事。

⇒その基本として、**住むこと、住まわせて頂くこと**、この**両者の狭間を考える**ことが問われる。前掲の「**規範**」・「**プライド意識**」形成の基礎・基盤となる故にである。

↓

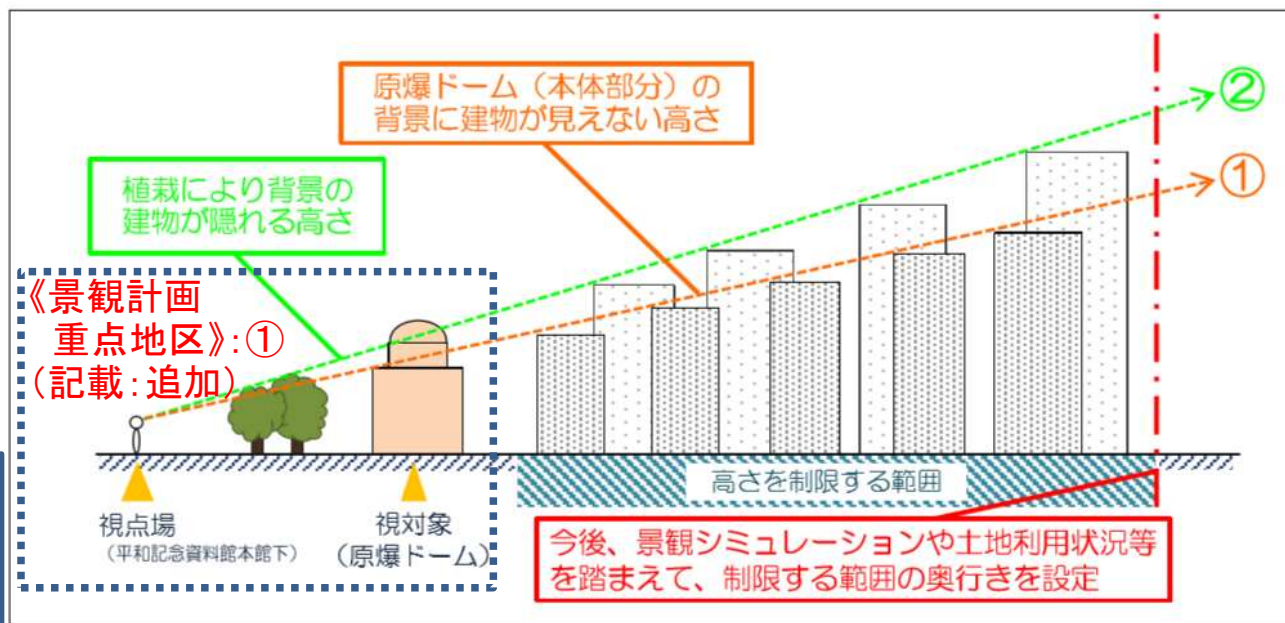
**⑨**これらのことを、どの様に立ち向かうのか？ 他の都市は見ているものと思う。⇒この「軸線」を大事にし、他都市に見られない、**都市・広島の魅力あるカタチの形成**が求められる。⇒そのためには、**都市・広島の景観**を大事にし、それを《**守り**》・《**育み**》・《**創る**》》ことが重要。殊に、それらへの《心・意識》《その育て合い》が大事！ と考える。

↓

**⑩**《都市の軸線、景観》⇒《都市の個性化》・《都市の活性化》への育て。  
【一つの大きな節目。「双六」で言えば「一つの“上り”」】

■【重要  
 ですので  
 再掲】:  
 《高さ制  
 限の導入  
 に当たっ  
 ての留意  
 点》:

図4 高さ  
 の基準等  
 の考え方  
 のイメージ  
 図(断面)



●平和記念公園内の既存の植栽による遮蔽効果に加え、さらに遮蔽効果が高まるよう植栽計画を詳細に検討した上で、  
 ①原爆ドーム(本体部分)の背景となる範囲、  
 ②植栽による遮蔽効果が見込める範囲のそれぞれについて、高さの基準を設定する。

●具体的な高さの基準及び高さを制限する範囲の奥行き(距離)の設定については、景観シミュレーションや、土地利用状況等を考慮して設定する。

●高さを制限する範囲より北側のエリアについては、形態や色彩による基準を設けることなど、別途検討を深める。



## ■全体として:

### ①南北軸関係:

⇒目指すべき姿を基本に、具体の景観誘導に向けて協議・検討。

\* 植栽化(育成、移植、植栽等。北側からの景観配慮を含む。)

\* 「背景景観」関係:

①高さ関係。②高さ以外(含、落葉樹の透け対応?)

③範囲(何km迄?)。

### ②東・西・南面に関して:

\* 住民ほか関係者のご意見を伺い、共通理解を大事にすることを基本に、具体の景観誘導に向け協議・検討。

「広島の景観  
～これから～

### ③更に、他の軸線関係の構想・計画・整備等に関して:

\* 地に座った展開を、大胆かつ丁寧に行うことが大事。

\* 「眺望景観」自体の種々の捉え方も含めての検討を期待!

### ④軸線設定による眺望景観、更には、景観自体について:

\* 景観が、市民の皆さんの心に響くもの、共に響き合うものになることを強く願っています。皆さんの深い、ご理解を、お願いしたい。

《以上:感謝!》